

事務事業名	中学校施設設備整備事業(単独)		所属部局	教育委員会	単位番号	12065					
	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	教育総務課	課長名	新津 岳					
			所属担当	教育施設担当	担当者名	河西 政彦					
基本政策	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目	
政策	23	学校教育の充実	事業区分	01	一般	10	03	03	020	03	
施策	37	学校施設の整備充実		<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input checked="" type="checkbox"/> 施設等維持管理事業						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度)			<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 補助金交付事業						
	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度)			<input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> その他の事業						
事業の内容・概要	期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載		法令根拠								
	市立中学校(7校)の既存する施設及び設備について、経年劣化等に伴う修繕や改修、設備の更新を行い、学校施設の耐久性を向上し、安全で快適な教育環境を提供するとともに、施設整備に伴う現場監理業務を行う。		事業費の主な内訳 (25年度 決算見込)								
			項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)					
			消耗品費	11	使用料及び賃借料	336					
			修繕料	3,711	備品購入費	176					
		手数料	84								
		設計監理及び測量委託料	5,307								
		既存施設(建物)修繕的工事	18,714	計	28,339						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	
25年度活動実績	学校施設維持管理
26年度活動予定	学校施設維持管理
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
校舎、屋内運動場、屋外プール、グラウンド	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
経年劣化に伴う維持改修、危険箇所の是正	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
安全な耐久性の向上	

⇒		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない
ア	施設施工校数	単位 件
イ		
ウ		
⇒		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない
ア	既存施設数	単位 棟
イ		
ウ		
⇒		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない
ア	修繕箇所数	単位 件
イ		
ウ		
⇒		⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない
ア	要望数	単位 件
イ		

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)
		国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	7,528	21,882	28,339	23,978	20,000		101,727
		事業費計(A)	千円	7,528	21,882	28,339	23,978	20,000	0	101,727
	人件費	正規職員従事人数	人	4	3	3	3	3		16
		延べ業務時間	時間	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600		8,000
		人件費計(B)	千円	7,282	7,282	7,282	7,282	7,282	0	36,408
		(A)+(B)	千円	14,810	29,164	35,621	31,260	27,282	0	138,135
	活動指標	ア	件	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0		
		イ								
		ウ								
	対象指標	ア	棟	37.0	38.0	38.0	38.0	38.0		189.0
		イ								
		ウ								
	成果指標	ア	件	24.0	34.0	17.0	20.0	20.0		115.0
		イ								
		ウ								
	上位成果指標	ア	件	56.0	42.0	26.0	30.0	30.0		184.0
		イ								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	学校施設として整備されてから維持管理等が始まった。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	計画的に耐震化は図られたが、経年劣化による大規模改修が必要である。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	児童、教職員、保護者より、安全性を最優先に維持管理が望まれている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	経済対策交付金を活用し、計画的に実施している。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	修繕工事のコスト削減を考慮して実施した。

事務事業名	中学校施設設備整備事業(単独)	所属部	教育委員会	所属課	教育総務課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 施設設備の整備をすることで、安全で耐久性の向上が図れる。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 義務教育施設に係る経費である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 安全で安心な教育環境の提供をするので、妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 経年劣化の改修工事を実施するので、向上の余地がない。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) 小学校施設設備整備事業(単独) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 財務会計上において、小学校予算であるため <input type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 学校建物は存続するので、経年劣化が進めば工事実施しなければならぬ。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 学校施設が存続する限り休止できない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 経済効果の高い安定資材等を使用した施工を考慮し、竣工後の経年劣化による修繕の経費削減を図っているので削減余地がない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 適正な建築設計及び請負施工に配慮しているので削減余地がない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 義務教育に係る経費であるため、市民が受益者になるいので公平である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	安全で安心な学校施設として、日常的に維持管理の徹底を図る。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 現状維持ではあるが修繕工事のコスト削減を考える。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 建設コストと耐用年数を考慮して、工事仕様を決定しコスト削減を図る。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑦	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑦																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					